

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-150869

(43)Date of publication of application : 05.06.2001

(51)Int.Cl.

B43K 23/04

B43M 17/00

(21)Application number : 11-332256

(71)Applicant : KENMOTSU TOSHIHIRO

(22)Date of filing : 24.11.1999

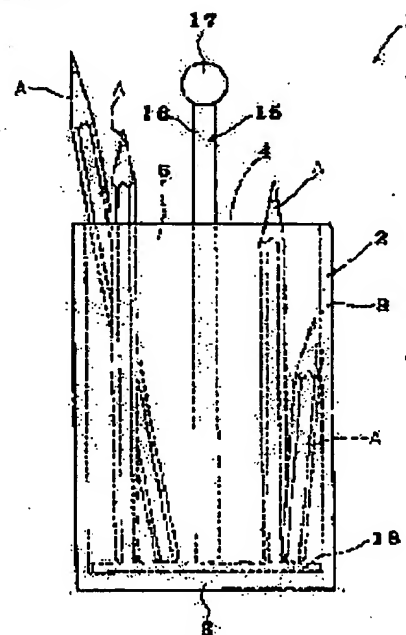
(72)Inventor : KENMOTSU TOSHIHIRO

## (54) TOOL FOR HOUSING WRITING UTENSIL OR THE LIKE

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a tool for housing writing utensils or the like, usability of which is good and which is equipped with a multifunctionality.

**SOLUTION:** This tool for housing writing utensils consists of a housing tool main body 2, of which a housing chamber 5 is formed by providing a bottom part 6 at the lower part of a tubular housing tube 3, and a housed-matter pulling-up tool 15 housed in the housing chamber 5, which is vertically slidably provided in the housing chamber 5 so as to facilitate the taking-out of the matter A housed in the housing chamber 5 of the main body 2.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

Searching PAJ

Page 2 of 2

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-150869

(P2001-150869A)

(43) 公開日 平成13年6月5日(2001.6.5)

(51) Int. Cl.  
B 4 3 K 23/04

識別記号

F I  
B 4 3 K 23/04

7-73-7\* (参考)

E  
L  
R  
E

B 4 3 M 17/00

B 4 3 M 17/00

審査請求 未請求 請求項の数10 OL (全 18 頁)

(21) 出願番号 特願平11-332256

(22) 出願日 平成11年11月24日(1999.11.24)

(71) 出願人 583032489

監物 利広

東京都東久留米市幸町3丁目4番27号

(72) 発明者 監物 利広

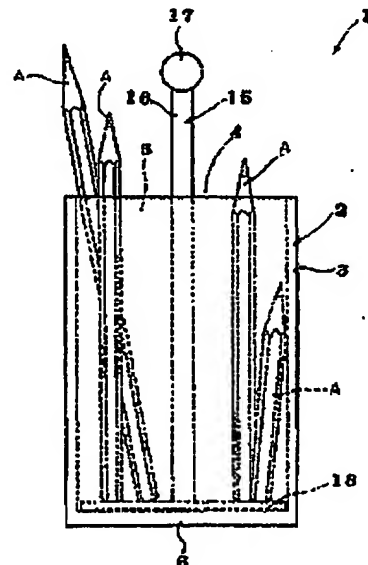
東京都東久留米市幸町3丁目4番27号

(54) 【発明の名称】 筆記具等の収納具

(57) 【要約】

【課題】 使い勝手が良く、多機能性を備えた筆記具等の収納具の提供。

【解決手段】 筒状の収納筒3の下部に底部6を設け収納室5を形成した収納具本体2と、この収納具本体2の該収納室内5に収納されている収納物Aを取り出し易くする為に前記収納室5内で上下にスライド移動可能に、収納室5内に収納した収納物引上具15とで構成している。



(2)

特開2001-150869

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 鉛筆や筆、定規等を立てて収納する収納具において、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、該収納室に収納した収納物を取り出し易くする為に該収納室内で上下に移動可能に収納された収納物引上具とで構成したことを特徴とする筆記具等の収納具。

【請求項2】 鉛筆や筆、定規等を立てて収納する収納具において、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、該収納室に収納した収納物を取り出し易くする為に該収納室内で上下に移動可能に収納された収納物引上具と、該収納室内に収納される収納物を分別して収納する為に前記収納物引上具に設けた少なくとも1枚の仕切板とで形成された仕切具とで構成したことを特徴とする筆記具等の収納具。

【請求項3】 鉛筆や筆、定規等を立てて収納する収納具において、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成し、及び該底部の外周面の外方に僅かに突出したツバ部が形成された収納具本体と、該収納室内の収納物を取り出し易くする為に該収納室内で上下に移動可能に収納された収納物引上具と、該収納室内に収納される収納物を分別して収納する為に前記収納物引上具に設けた少なくとも1枚の仕切板とで形成した仕切具と、前記収納具本体の外周面にセットした写真などのシート材を保持する為に該収納具本体の外周に環繞して前記ツバ部に載置した透明な筒体からなるシート材保持筒とで構成したことを特徴とする筆記具等の収納具。

【請求項4】 鉛筆や筆、定規等を立てて収納する収納具において、平面形状が略方形や略円形の板部材からなる支持台と、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、この収納具本体の該収納室内の収納物を分別して収納する為に少なくとも1枚の仕切板で形成した仕切具と、前記支持台に取り付けて前記収納具本体を支持するとともに該収納具本体を傾倒して前記収納室内の収納物を取り出し易くする為の傾倒手段を備えた収納筒傾倒具とで構成したことを特徴とする筆記具等の収納具。

【請求項5】 鉛筆や筆、定規等を立てて収納する収納具において、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、該収納室内に収納された収納物を取り出し易くする為に前記収納室内で上下に移動可能に収納された収納物引上具と、前記収納室内に収納される収納物を分別して収納する為に前記収納物引上具に設けた少なくとも1枚の仕切板とで形成された仕切具と、前記収納具本体の上端開口部に安定して載置できるように形成された蓋体とで構成したことを特徴とする筆記具等の収納具。

【請求項6】 鉛筆や筆、定規等を立てて収納する収納具において、筒状の収納筒の上部が開口され該収納筒の内部を複数の仕切壁で仕切って複数の収納室を設け、こ

2

のそれぞれの該収納室の下方の異なる部位に底部を形成する、或いは前記複数の収納室の下部を閉じて同一面に底部を形成し、該収納室の上部面を高さ異なる階段状に形成して収納具本体を構成したことを特徴とする筆記具等の収納具。

【請求項7】 鉛筆や筆、定規等を立てて収納する収納具において、筒状の伸縮部材の下部に底板を設けて可変収納室を形成した可変収納筒と、この可変収納筒の上端面に、下端面を固着して可変収納室を形成した筒状の可動収納筒とで構成する、或いは筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、この収納具本体の上端面に筒状の伸縮部材の下端面を固着して可変収納室を形成した可変収納筒とで構成したことを特徴とする筆記具等の収納具。

【請求項8】 鉛筆や筆、定規等を立てて収納する収納具において、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、この収納具本体の内周面に逐わずように挿入し、該底部上に載置した筒状の伸縮部材と、この伸縮部材の上端面に、筒体の下端面を固着して可動収納室を形成した可動収納筒とで構成したことを特徴とする筆記具等の収納具。

【請求項9】 鉛筆や筆、定規等を立てて収納する収納具において、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、この収納具本体の該底部上面の中心部に立設固着した円筒体の第2収納筒と、横断面が略半円形の筒体の中心に上下に貫通して設けた支持孔を前記第2収納筒の外周面に回動可能に少なくとも2個以上を重ねて環繞した可動収納筒とで構成したことを特徴とする筆記具等の収納具。

【請求項10】 鉛筆や筆、定規等を立てて収納する収納具において、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成し、該収納筒の略垂直な平面壁面の左右端部及び底部を僅かに前方に突出させた左右先端部分を内方にほぼ直角に折り曲げて横断面がコ字状のスライド溝を形成した保持板係止具とからなる収納具本体と、前記スライド溝に挿入してシート材を保持するための板状の透明部材からなるシート材保持板と、少なくとも2個以上の前記収納具本体を回動可能に取り付けた連結部材とで構成したことを特徴とする筆記具等の収納具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は鉛筆や、定規等を立てて収納するための筆記具等の収納具に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、筆記具等の収納具は、平面形状が円形や楕円形、多角形等のコップ形状で、合成樹脂材や陶器、金属材等で加工されたものが一般的に使われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来の筆記具等の収納

(3)

特開2001-150869

3

具は、単に収納を目的とするものが殆どであり、収納室内に隠れてしまうような短い鉛筆等を取り出しずらかったり、また遊び心や装飾性等の複合機能を備えていない等の問題があった。本発明は以上のような従来の問題点に鑑み、使い勝手が良く、遊び心を持たせた、または装飾性等の複合機能を備えた筆記具等の収納具を提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1に記載された発明は、筒状の収納筒の上部を開口し、下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、該収納室内の収納物を取り出し易くする為に該収納室内で上下に移動可能に収納された収納物引上具とで構成したことを特徴とする。

【0005】請求項2に記載された発明は、上記構成に加え、収納室内に収納される収納物を分別して収納する為、収納物引上具に仕切具を備えた構成にしたことを特徴とする。

【0006】請求項3に記載された発明は、上記請求項2の構成に加え、収納具の底部外周面に外方に僅かに突出したツバ部を設け、収納具本体の外周面にセットした写真などのシート材を保持する、透明な筒体のシート材保持筒を備えたことを特徴とする。

【0007】請求項4に記載された発明は、平面形状が略方形や略円形の板体の支持台と、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、この収納具本体の収納室内の収納物を分別収納する為に少なくとも2枚の仕切板で形成した仕切具と、支持台に取り付けて収納具本体を支持するとともに収納具本体を傾倒して収納室内の収納物を取り出し易くする為の傾倒手段を備えた収納筒組立具とで構成したことを特徴とする。

【0008】請求項5に記載された発明は、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、収納室内に収納された収納物を取り出し易くする為に収納室内で上下に移動可能に収納された収納物引上具と、収納室内に収納される収納物を分別して収納する為に収納物引上具に設けた少なくとも1枚の仕切板とで形成された仕切具と、収納具本体の上部開口部に安定して設置できるように形成された蓋体とで構成したことを特徴とする。

【0009】請求項6に記載された発明は、上部が開口された筒状の収納筒の内部を複数の仕切壁で仕切って複数の収納室を設け、このそれぞれの収納室の下方の異なる部位に底部を形成する、或いは複数の収納室の下部を囲って同一面に底部を形成し、収納室の上面面の高さが異なる階段状に形成して収納具本体を構成したことを特徴とする。

【0010】請求項7に記載された発明は、筒状の伸縮部材の下部に底板を設けて可変収納室を形成した可変収納筒と、この可変収納筒の上端面に、下端面を囲着して

4

可動収納室を形成した筒状の可動収納筒とで構成する、或いは筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、この収納具本体の上端面に筒状の伸縮部材の下端面を囲着して可変収納室を形成した可変収納筒とで構成したことを特徴とする。

【0011】請求項8に記載された発明は、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、この収納具本体の内周面に添わずよう挿入し、底部上に設置した筒状の伸縮部材と、この伸縮部材の上端面に、筒体の下端面を囲着して可動収納室を形成した可動収納筒とで構成したことを特徴とする。

【0012】請求項9に記載された発明は、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成した収納具本体と、この収納具本体の底部上面の中心部に立設した円筒体の第2収納筒と、筒断面が略半円形の筒体を中心に上下に貫通して設けた支持孔を第2収納筒の外周面に回転可能に少なくとも2個以上を亘って環状した可動収納筒とで構成したことを特徴とする。

【0013】請求項10に記載された発明は、筒状の収納筒の下部に底部を設けて収納室を形成し、収納筒の略垂直な平面壁面の左右端部及び底部を僅かに前方に突出させた左右先端部分を内方にはほぼ直角に折り曲げて筒断面がコ字状のスライド溝を形成した保持板係止具とからなる収納具本体と、スライド溝に挿入してシート材を保持するための板状の透明部材からなるシート材保持板と、少なくとも2個以上の収納具本体を回転可能に取り付けた連結部材とで構成したことを特徴とする。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、図面に示す実施の形態により、本発明を詳細に説明する。

【0015】図1ないし図7に示す本発明の第1の実施の形態において、1は筆記具等の収納具で、収納具本体2と、この収納具本体2内に収納された収納物引上具15とで構成されている。以下、図面に基づいて詳細に説明する。

【0016】収納具本体2は、図1ないし図3に示すように合成樹脂で一体に成型加工するか、或いは金属や陶器、木などを加工して筒状の収納筒3を形成する。この収納筒3の上部には、収納物A等を挿入するための開口部4を形成し、収納筒3の下部には該収納筒3と一体に、或いは別体を取り付けて底部6を形成する。そして、収納筒3の内部に収納物Aを収納するための収納室5を形成して筆記具やマーカー、筆、定規等の収納物Aを立てて収納することが出来るように構成している。

【0017】そして、底部6の下面には合成ゴムなどの滑り止め部材を貼設することにより、机などの上に安定して設置できるとともに、傷などが付くのを防止することが出来る（図示省略）。同様に、テーブル面が破裂の場合には前記底部6下面に永久磁石を取り付けたり、或いはテーブル面が平面の場合には吸盤や粘着剤を取り付

(4)

特開2001-150869

5

ける事によりテーブル上に安定して設置できる等の効果が得られる(図示省略)。

【0018】さらに、収納物15は、図4及び図5に示すように合成樹脂や金属或いは陶器、木などを用い、柱状の支柱16の上端部に設けたツマミ17と、該支柱16の下端部に形成した板状の収納物保持板18とで構成されている。ツマミ17及び収納物保持板18は成型加工等により一体に加工するか、或いは別々に加工した個々の部品を組み立てる。

【0019】前記収納筒3の形状は、図6のa～eに示した形状が基本形状となるが、必ずしもこの形状に限定されるものではない。

【0020】前記収納筒15は、図7に示すように収納室5に収納した際に収納室5内に隠れてしまうような短い収納物Aを容易に取り出すために用いるために、収納物保持板18は収納室5の内周面にスライド可能な大きさとする。また、前記支柱16は、コスト高には成るが、分割或いは伸縮可能にすることにより、収納保管や流通過程において嵩ばらずに収納、保管及び運搬が出来る等の有利な効果が得られる(図示省略)。

【0021】

【発明の異なる実施の形態】次に図8ないし図42の本発明の異なる実施の形態について説明する。なお、これらの本発明の異なる実施の形態の説明に当たって、前記本発明の第1の実施の形態と同一構成部分については同一符号を付して重複する説明を省略する。

【0022】図8ないし図10の本発明の第2の実施の形態において、前記本発明の第1の実施の形態と主に異なる点は、図9及び図10に示すように、収納物15の支柱16Aの外周側面に支柱16Aと一体に成型加工するか、又は別体を支柱16Aの外周に取り付けた4枚の略長方形板体の仕切板20、20、20、20で形成した仕切具19とで構成した筆記具等の収納具1Aにしても前記本発明の第1の実施の形態と同様の作用効果が得られると共に、図8に示すように仕切具19により、収納具本体2の収納室5内に収納した鉛筆やマーカー等の収納物Aを種類別、或いは物品別等に分別収納することができる。前記仕切板20は4枚に限定されるものではなく、必要に応じて任意の数を設ける。

【0023】図11ないし図13に示す本発明の第3の実施の形態において、前記本発明の第2の実施の形態と主に異なる点は、底部6Aの外周側面に外方に僅かに突出したツバ部6aを形成した収納具本体2Aと、この収納具本体2Aの外径より僅かに大きな内径を有する透明な筒体を、収納具本体2Aの上方より挿入してツバ部6a上に押脱可能に載置したシート材保持筒21とで構成した筆記具等の収納具1Bにしても、前記本発明の第2の実施の形態と同様の作用効果が得られると共に、収納具本体2Aの外周壁と、該シート材保持筒21の内周壁との間に形成されるシート材収納室14に写真等のシー

6

ト付Bを収納して自分だけの筆記具等の収納具1Bを作ることができる。

【0024】この、シート材収納室14は、図12に示したaのように前記シート材保持筒21Aの内周壁の下端部に段部21aを形成するか、又はbのように前記収納具本体2Bの下部外周面に段部3aを形成する。又はcのように底部6Bの外周端部に凸部6bを形成する等により前記収納具本体2A、2B、2Cの外周壁面との間に均一な隙間を形成することにより形成される。

【0025】また、図13に示すように、収納具本体2Dの底部6Cを厚くして、この底部6Cの外周壁面に形成した収納凹部に押脱可能に収納され、取っ手10aを備えた鉛筆削り10と、同様に該底部6Cの外周壁面に形成された収納凹部に押脱可能に収納した上面が開いた筒形で取っ手11aを備えた小物収納具11とで構成したことにより、素早く鉛筆を削ることが出来、また小物収納具に消しゴム等を収納して利便性が高められる等の効果が得られる。

【0026】図11においては、収納具本体2Aの外周に環状するシート材保持筒21は短めに示されているが、これに限定するものではなく、図13に示すように上面を備えても良く自由である。

【0027】図14ないし図18に示す本発明の第4の実施の形態において、前記本発明の第2の実施の形態と主に異なる点は、略長方形の板体の仕切板20Aを一体に成型加工して仕切具19A(図示省略)を形成する。または、該板体の中央端部から高さ方向に全高の約2分の1の係合溝を形成した仕切板を組合わせた仕切具(図示省略)を用いて収納具本体2B内の収納物Aを分別収納するように構成する。さらに、収納具本体2A、又は2B内の収納物Aを取り出し易くする為に、収納具本体2A、又は2Bを斜めに倒して収納具本体2A、又は2B内の収納物Aを取り出し易くするための傾倒手段を備えた収納筒傾倒具27、又は27Aを用いた点である。

【0028】収納筒傾倒具27の1実施例として図14ないし図16に示すように金属や合成樹脂、石材、木等を加工した平面形状が円形や多角形の支持台24の外周側面の対向する位置に2本の支持部材28のそれぞれの下部に穿設した取付孔30、30を介してビス31、31で取付け、更にそれぞれの前記支持部材28、28の上部に設けた支持孔32、32を通過して相互ピン33、33により前記収納具本体2Bの上部端りの対向する位置の外周壁面に設けた螺孔8、8にネジ止めする。シート材保持筒21Aの対向する外周側面の前記相互ピン33、33より下方部分にはスリット22、22を形成している。

【0029】また、他の実施例として、図17に示すように収納具本体2Aの底部6Eの下部面の略中央に支持部材9を設け、及び支持台24Aの上面略中央に支持凹部26を設けて収納筒傾倒具27Aの両端を固定した構

7

成としても良い。前記収納筒側例具27Aは本実施例ではコイルスプリングを用いているが、その他、緩バネや自在継手等を使用しても良い(図示省略)。

【0030】また、図18に示すように前記支持台24Aの外周壁面に形成した2つの収納凹部(図示省略)に挿脱可能に鉛筆削り10及び小物収納具11を収納する構成とすることにより更に利便性を高める等の効果が得られる。上記構成とした筆記具等の収納具1C及び1C'及び1C''にしても前記本発明の第2の実施の形態と同様の作用効果が得られる。

【0031】図19ないし図21に示す本発明の第5の実施の形態において、前記本発明の第2の実施の形態と主に異なる点は、図19に示すように収納筒3Cの上端部の内壁面に係合切欠部3bを形成し、筒体23の上部を閉じて下部を開口した蓋体23の下端部外壁面に形成した係合切欠部23aを、前記収納筒3Cの係合切欠部3b上面に係合して設置できるように構成している。前記収納筒3C及び前記蓋体23の係合切欠部3b及び23aは収納筒3C上端部外壁面、及び蓋体23の下端部内壁面に形成した係合切欠部(図示省略)としても良い。

【0032】また図20に示すように、合成樹脂や粘土、木等の材料を用いて全体の外形形状を、例えばライオンや虎、フクロウ、言だるま、その他に加工するが(本実施例ではミアーキャット)、この略下半分(本実施例では胴体部分)の外形形状に形成した収納具本体2C'と、略上半分(本実施例では頭部)の外形形状に形成した蓋体23Aとで構成することにより、収納室内にホコリ等が入らないようにできると共に装飾性を高めて置物としても利用出来る等の効果が得られる。

【0033】また、図21に示すように、シート材保持筒21を挿脱出来るように形成した収納具本体2B'としても良い。この場合には前記蓋23をシート材保持筒21の上に設置するように構成しても良いし、蓋とシート材保持筒とを一体に形成しても良い。

【0034】以上のように構成した筆記具等の収納具1D、1D'、1D''にしても前記本発明の第1の実施の形態と同様の作用効果が得られる。

【0035】図22ないし図24に示す本発明の第6の実施の形態において、前記本発明の第1及び第2の実施の形態と主に異なる点は、収納物引上具や仕切具を用いなくて、図22に示すように合成樹脂や粘土、木等の材料を用いて、筒状の収納筒3Eの上部は開口したまま開口部4、4、4を形成し、該収納筒3Eの内部を複数の仕切壁13、13、13で仕切り、複数の収納室5、5、5を形成する。この、それぞれの収納室5、5、5の下方の深さの異なる位置に底部6、6、6を形成し、この底部6、6、6の底面を略平面に形成する。

【0036】又は図23に示すように前記複数の収納室5、5、5の底部6、6、6を同一面として、該収納室5、5、5の上部面を高さの異なる階段状に形成して深

(5)

特開2001-150869

8

さが異なる収納室5、5、5に構成する。前記収納室は3室に限定するものではなく、任意の数を設ける。

【0037】更に図24に示すように前記収納具本体2E又は2E'の底部6を厚くして、この外周側面を水平方向で、外方に僅かに突出してツバ部(図示省略)を形成して、このツバ部上面に、該収納具本体2E又は2E'の外径より僅かに大きな内径に形成した透明な筒体のシート材保持筒21を挿脱可能に覆装して設置した底部6C、6C、6Cの外周側面に形成された2つの収納凹部(図示省略)に挿脱可能に収納した鉛筆削り10と、上部が開口した箱状の小物収納具11とで構成することにより更に利便性が高められる。上記構成とした筆記具等の収納具1E、1E'、1E''にしても前記本発明の第2ないし第4の実施の形態と同様の作用効果が得られる。

【0038】図25ないし図30に示す本発明の第7の実施の形態において、前記本発明の第1ないし第6の実施の形態と主に異なる点は、図25及び図26に示すように、合成樹脂、金属、木或いは粘土等で形成した平面形状が、円形や多角形の筒体で形成した底板7の上面に、金属又は合成樹脂材からなる筒状の伸縮部材44(本実施例ではコイルスプリング)の下端面を接合等により固着して可変収納室36を設けて可変収納筒34を形成する。そして、該伸縮部材44の上端面に合成樹脂や金属或いは木等で形成した伸縮部材44と同一の平面形状の筒体の下端面を、接着等で固着して可変収納室37を設けた可動収納筒35とで構成している。

【0039】また、筒状の伸縮部材44と収納筒の組合わせとしては、図27に示すようにa、b、cのような構成にすることも出来る。

【0040】また、前記と異なる実施例としては図28及び図29に示すようにジャバラを伸縮部材44Aに使用した構成としている。

【0041】また、伸縮部材と収納筒との組合わせとしては、図30に示すように、a、b、cのような構成にすることも出来る。図26又は図29に示すように、前記可動収納筒36の上部を押し下げることにより、可動収納室37内に隠れている収納物Aの先端部分が現れてくるので容易に取り出すことが出来る。以上のように構成した、筆記具等の収納具1F及び1F'にしても前記本発明の第1ないし第6の実施の形態と同様の作用効果が得られる。

【0042】図31及び図32に示す本発明の第8の実施の形態において、前記本発明の第7の実施の形態と主に異なる点は、図31に示すように、筒状の収納筒3Aの下部に底部6を形成して、収納室5を設けて収納具本体2Aを形成する。この収納具本体2Aの内周面に添わせるようにして挿入し、該底部6上に筒状の伸縮部材44(本実施例ではコイルスプリング)を配置する。そして、伸縮部材44、及び収納具本体2Aと横断面が同形

9

状の筒体の下端面を伸縮部材44の上端面に接着剤等により固着して可動収納室37を形成した可動収納筒35とで構成する。

【0043】また図32に示すように、収納具本体2Dの外周に上方から環状して、ツバ部6a上に設置したシート付保持筒21、及び底部6Cに形成した2つの収納凹部に（図示省略）挿脱可能に収納した鉛筆削り10、及び小物収納具11を付加した構成にすることにより更に装飾性や利便性を高める効果を得られる。以上のように構成した当器具等の収納具1G及び1G'にしても前記本発明の第7の実施の形態と同様の作用効果が得られる。

【0044】図33ないし図37に示す本発明の第9の実施の形態において、合成樹脂で一体に成型加工するか、或いは金属や木等を加工して筒状の収納筒3Fを形成し、この上部を開口して開口部4を設ける。そして、収納筒3Fの下部に収納筒3Fと一体に、又は別体を取り付けて底部6を設けて収納室5Aを形成した収納具本体2Fを形成する。この収納具本体2Fの収納室5Aの中央に円筒体の内部を第2収納室39に形成した第2収納筒38を回転させる。そして、この第2収納筒38の外周に、横断面がほぼ半円形の筒状であり、この中心点を中心にして、上下に貫通した支持孔45を形成した可動収納筒35A、35A、35Aのそれぞれを、回転可能に前記第2収納筒38の外周に重ねて環状する構成としている。

【0045】前記第2収納筒38は、収納室5の中央部に設けられるが、前記収納具本体2Fの全高のおよそ1.5倍～3倍の高さの筒体で、収納具本体2Fの外周部分はやや小径に形成している。この小径部分は、必ずしも必要としないが前記可動収納筒35Aを安定して支持する役目をもっている。また、ストレートで同径の第2収納筒38にリング状のツバ部を形成する構成としても良い（図示省略）。以上のように構成した当器具等の収納具1Hにしても、前記本発明の第1ないし第8の実施の形態と同様の作用効果が得られる。

【0046】図38ないし図42に示す本発明の第10の実施の形態において、合成樹脂で一体に成型加工するか、或いは金属や粘土、ガラス等を加工して筒状の収納筒3Gを形成する。この収納筒3Gの上部は開口され収納物Aの挿入口となる。また、前記収納筒3Gの下部には底部6Eを収納筒3Gと一体に形成する。或いは別体を取り付けて収納物Aを収納するための収納室5を形成し、収納筒3Gの垂直な平面壁面の左右端部及び底部6Eを僅かに前方に突出させた左右突片の先端部分を内方にはほぼ直角に折り曲げて、スライド溝42、42を形成した保持板係止具41を形成して収納具本体2Eを構成する。そして、前記スライド溝42、42に板状の透明なガラス板やプラスチック板のシート付保持板43を挿入する。

(6)

特開2001-150869

10

【0047】について、2個の前記収納具本体2G、2Gの前記保持板係止具41、41の1外側面をヒス等で煩雑等の連結部材46、46により回転可能に連結した構成としている。前記収納具本体2Gは、本発明例においては2個を連結しているが、横断面が3角形や、4角形等の多角形にすることにより、3個以上を連結しても良く、これにより、収納量が増える等の効果を得られる。

【0048】上記構成とした、当器具等の収納具1Jにしても、写真等のシート物Bを収納して、オリジナルの当器具等の収納具が得られる。

【0049】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明においては次に列挙する効果を得られる。

【0050】（1）請求項1により、収納物引上具を上方に持ち上げる事により、収納室内に隠れてしまっているような、短い鉛筆等の収納物Aを容易に取り出すことが出来る。

（2）請求項2においては、前記（1）と同様の作用効果が得られると共に、仕切具により、収納物Aを種類別に、或いは物品別等に分けて収納出来るので、目的物を容易に探し出す事が出来る。

（3）請求項3により、写真や布、紙などのシート物Bを収納出来るので、自分だけのオリジナル当器具等の収納具を作る事が出来ると共に、装飾性が高められるので飾り物（置物）としても利用出来る。

（4）請求項4においても、前記（1）ないし（3）と同様の作用効果が得られる。

（5）請求項5においても、前記（1）ないし（3）と同様の作用効果が得られると共に、蓋体を設けた事により、ホコリ等が収納室に入るのを、防止することが出来る。

（6）請求項6ないし請求項9においても、前記（1）ないし（4）と同様の作用効果が得られる。

（7）請求項10においては、前記（3）と同様の作用効果が得られると共に、複数の収納具を連結して変化を遂げることが出来、安定して設置できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態の使用状態を示す拡大正面図である。

【図2】本発明の第1の実施の形態を示す片側縦断面図である。

【図3】本発明の第1の実施の形態を示す平面図である。

【図4】収納物引上具を示す平面図である。

【図5】収納物引上具を示す正面図である。

【図6】収納具本体の形状の主たる態様を示す斜視図である。

【図7】本発明の第1の実施の形態の使用状態を示す説明図である。

【図8】本発明の第2の実施の形態の使用状態を示す一



(7)

特開2001-150869

11

12

部破断の拡大正面図である。

【図9】収納物引上具及び仕切具を示す正面図である。

【図10】同上の平面図である。

【図11】本発明の第3の実施の形態の使用状態を示す一部破断の正面図である。

【図12】収納具本体とシート材保持部の主たる組合せを示す断面図である。

【図13】本発明の第3の実施の形態の異なる実施例を示す一部破断の正面図である。

【図14】本発明の第4の実施の形態の使用状態を示す片側縦断面図である。

【図15】本発明の第4の実施の形態を示す側面図である。

【図16】本発明の第4の実施の形態を示す平面図である。

【図17】本発明の第4の実施の形態の異なる実施例の使用状態を示す片側縦断面図である。

【図18】本発明の第4の実施の形態の異なる実施例を示す片側縦断面図である。

【図19】本発明の第5の実施の形態の使用状態を示す一部破断の正面図である。

【図20】本発明の第5の実施の形態の異なる実施例を示す側面図である。

【図21】本発明の第5の実施の形態の更に異なる実施例を示す片側縦断面図である。

【図22】本発明の第6の実施の形態を示す斜視図である。

【図23】本発明の第6の実施の形態の異なる実施例を示す斜視図である。

【図24】本発明の第6の実施の形態の更に異なる実施例の使用状態を示す一部破断の正面図である。

【図25】本発明の第7の実施の形態の使用状態を示す一部破断の正面図である。

【図26】本発明の第7の実施の形態の使用状態を示す片側縦断面図である。

【図27】本発明の第7の実施の形態の異なる態様を示す正面図である。

【図28】本発明の第7の実施の形態の異なる実施例を示す一部破断の正面図である。

【図29】本発明の第7の実施の形態の異なる実施例の使用状態を示す片側縦断面図である。

【図30】本発明の第7の実施の形態の異なる実施例の異なる態様を示す正面図である。

【図31】本発明の第8の実施の形態を示す一部破断の正面図である。

【図32】本発明の第8の実施の形態の異なる実施例を示す片側縦断面図である。

【図33】本発明の第9の実施の形態の使用状態を示す説明図である。

【図34】本発明の第9の実施の形態を示す平面図であ

る。

【図35】本発明の第9の実施の形態を示す片側縦断面の正面図である。

【図36】本発明の第9の実施の形態の可動収納筒を移動した状態を示す平面図である。

【図37】同上の正面図である。

【図38】本発明の第10の実施の形態の使用状態を示す斜視図である。

【図39】本発明の第10の実施の形態を示す平面図である。

【図40】図39の40-40線に沿った断面図である。

【図41】本発明の第10の実施の形態の開いた状態を示す平面図である。

【図42】同上の正面図である。

【符号の説明】

A 収納物

B シート材

1. 1A, 1B, 1C, 1D, 1E, 1F, 1G, 1

H, 1J 量記具等の収納具

2. 2A, 2B, 2C, 2D, 2E, 2F, 2G 収納具本体

3. 3A, 3B, 3C, 3D, 3E, 3F, 3G 収納筒

3a 段部

3b 係合切欠部

4 開口部

5. 5A 収納室

6. 6A, 6B, 6C, 6D, 6E 底部

6a ツパ部

6b 凸部

7 底板

8 螺孔

9 支持部材

10 鉛筆削り

10a 取手

11 小物収納具

11a 取手

12 傾倒具支持部

13 仕切壁

14 シート材収納室

15. 15A 収納物引上具

16. 16A 支柱

17 ツマミ

18 収納物保持板

19. 19A, 19B 仕切具

20. 20A, 20B 仕切板

21. 21A シート材保持筒

21a 段部

22 スリット

(8)

特開2001-150869

13

14

23 蓋体  
 23a 係合切欠部  
 24 支持台  
 25 螺孔  
 26 支持凹部  
 27, 27A 収納筒傾倒具  
 28 支持部材  
 29 螺孔  
 30 取付孔  
 31 ビス  
 32 支持孔  
 33 根支ピン  
 34, 34A 可変収納筒

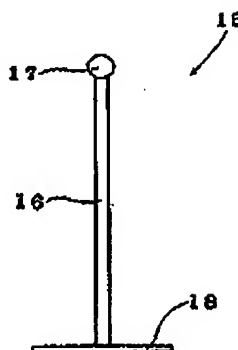
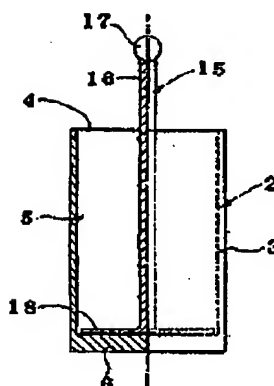
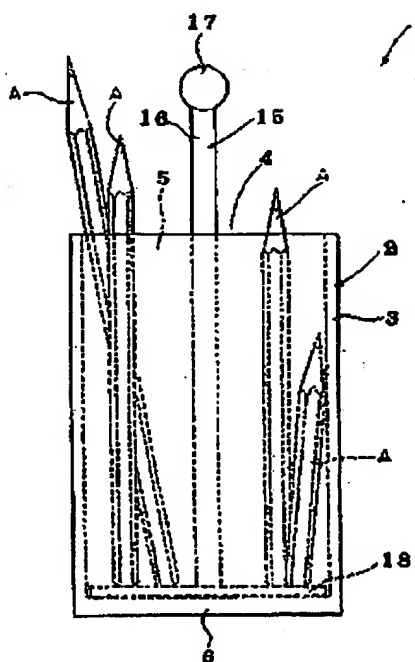
\* 35, 35A 可動収納筒  
 36, 36A 可変収納室  
 37, 37A 可動収納室  
 38 第2収納筒  
 39 第2収納室  
 40 開口部  
 41 保持板係止具  
 42 スライド溝  
 43 シート付保持板  
 44, 44A 伸縮部材  
 45 支持孔  
 46 連結部材

\*

【図1】

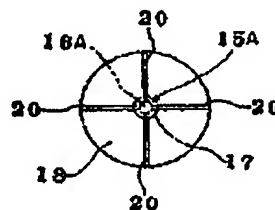
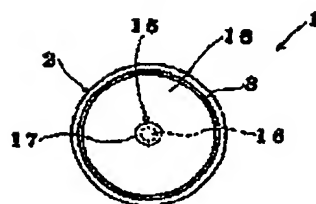
【図2】

【図5】



【図3】

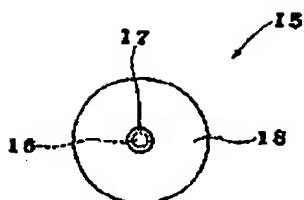
【図10】



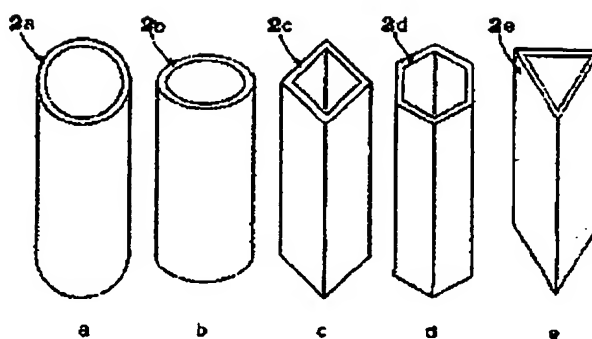
(9)

特開2001-150869

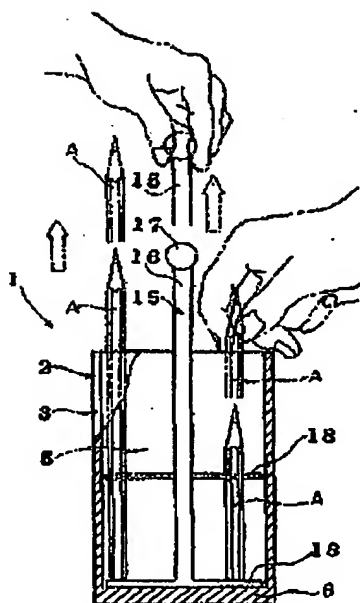
【図4】



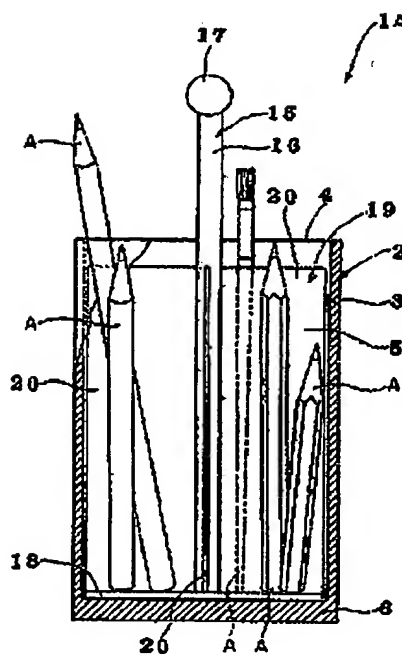
【図6】



【図7】



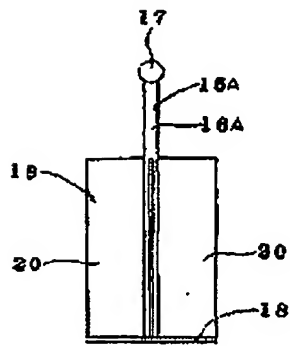
【図8】



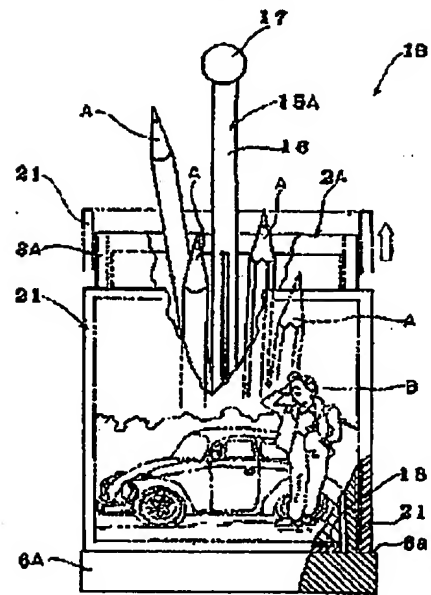
(10)

特開2001-150869

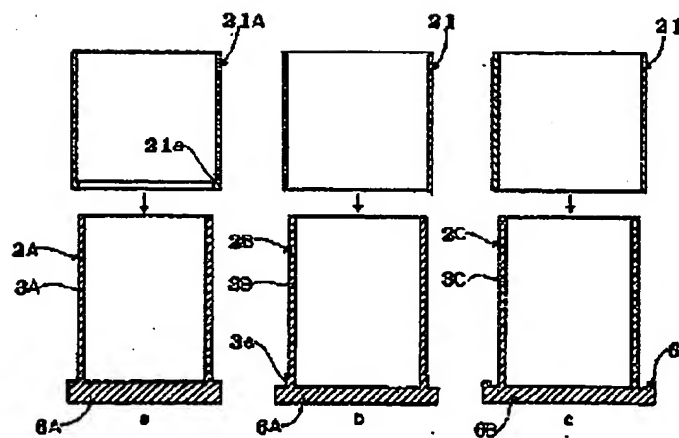
【図9】



【図11】



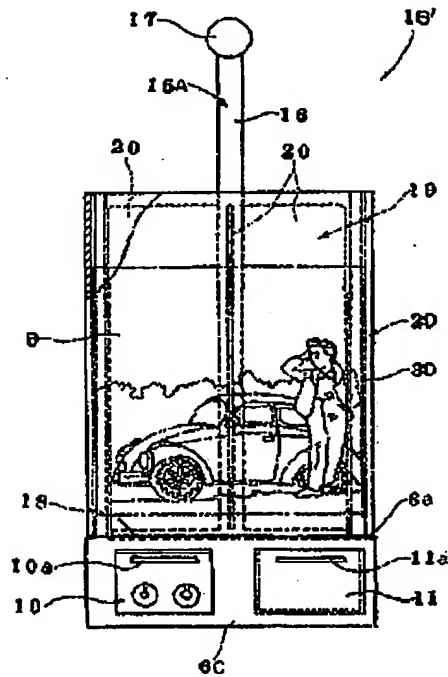
【図12】



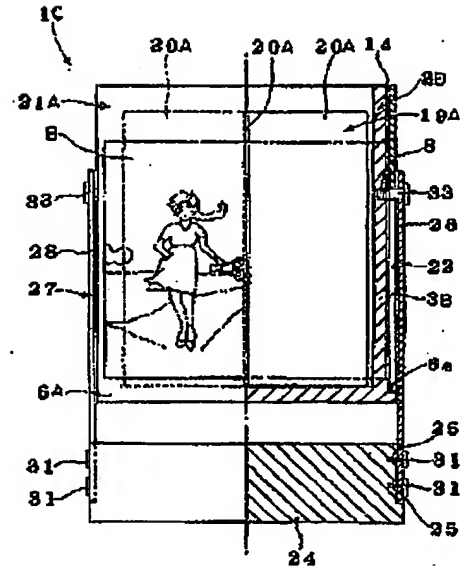
(11)

特開2001-150869

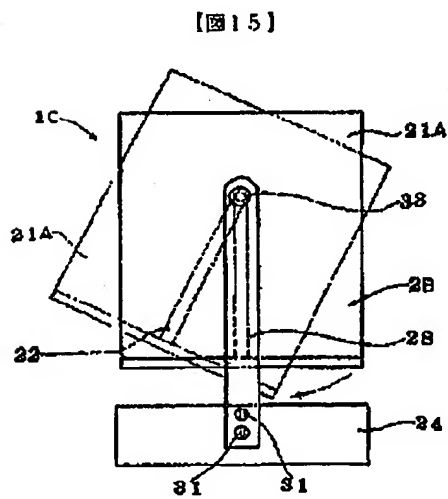
【図13】



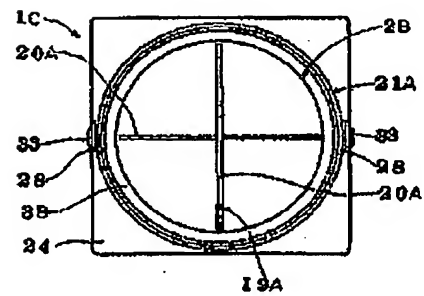
【図14】



【図15】



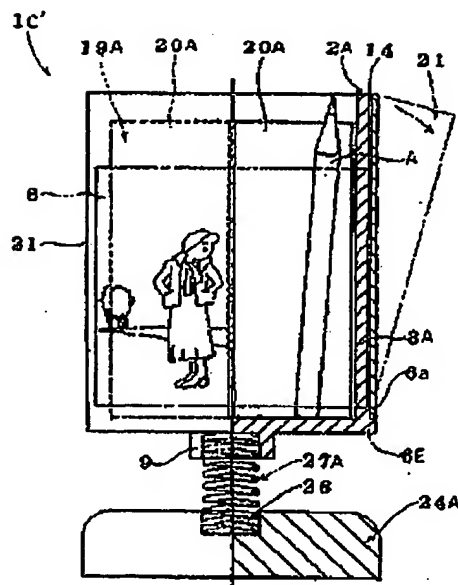
【図16】



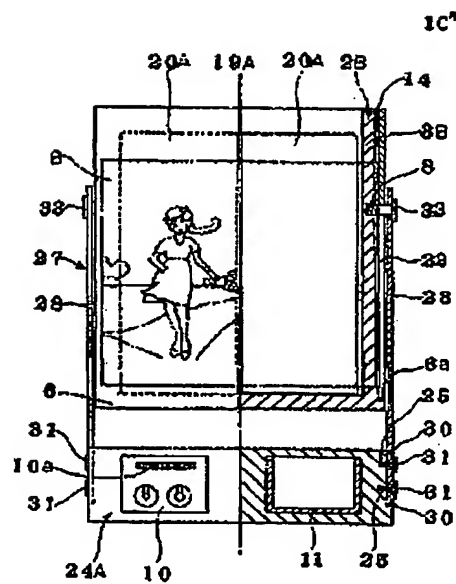
(12)

特開2001-150869

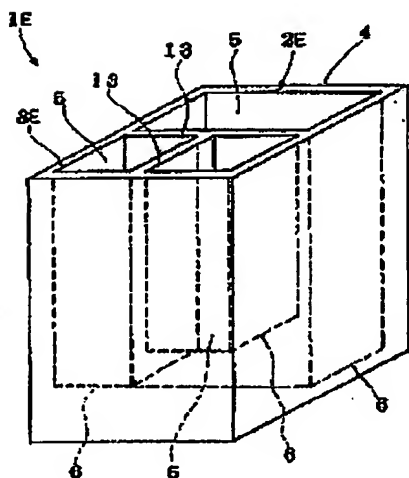
【図17】



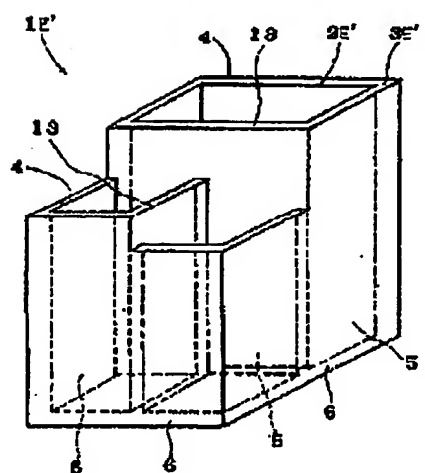
【図18】



【図22】



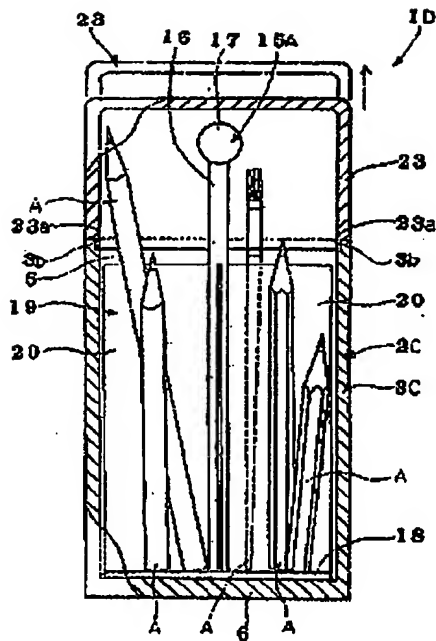
【図23】



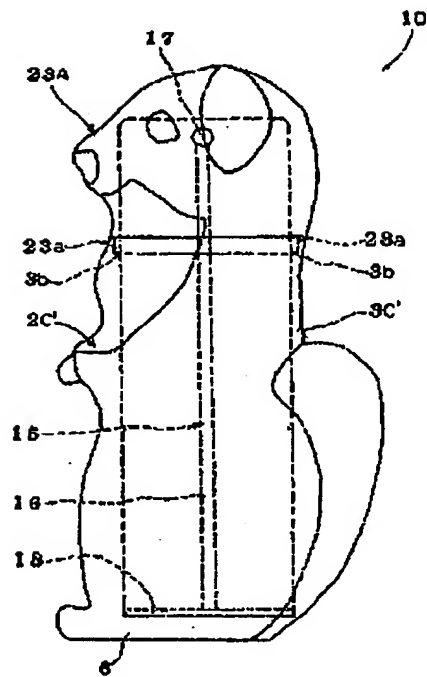
(13)

特開2001-150869

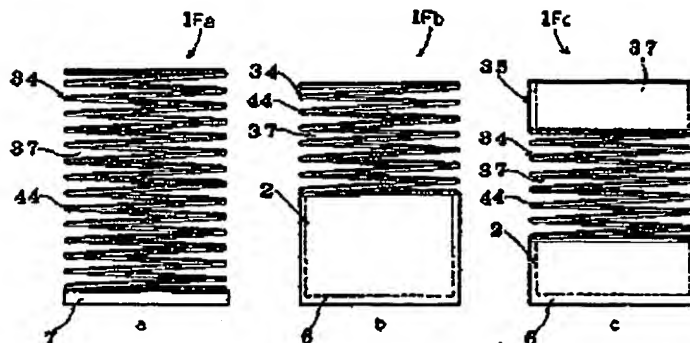
【図19】



【図20】



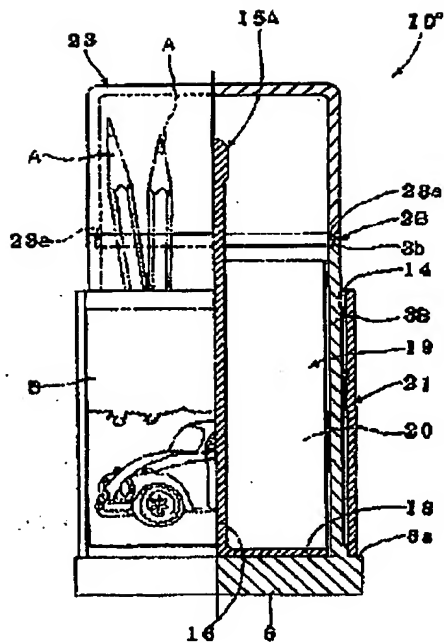
【図27】



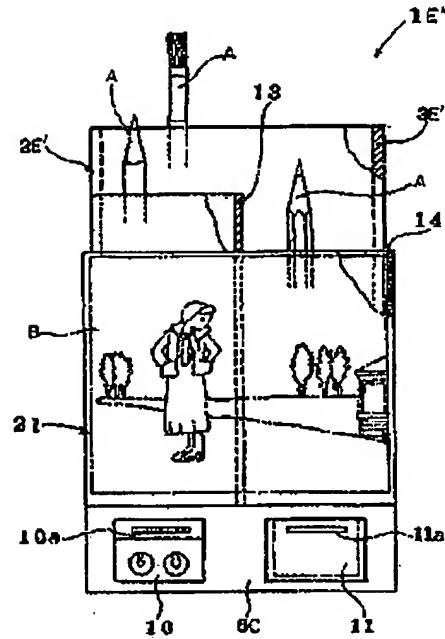
(14)

特開2001-150869

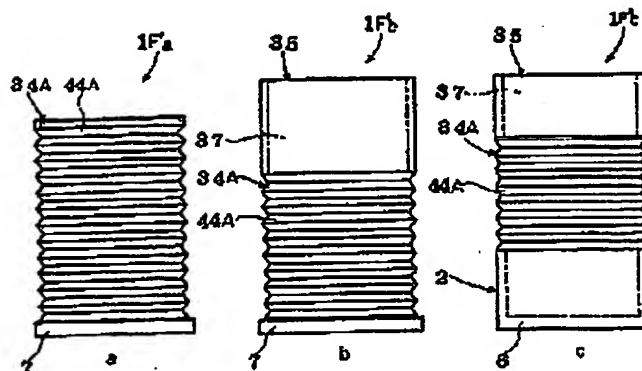
【図21】



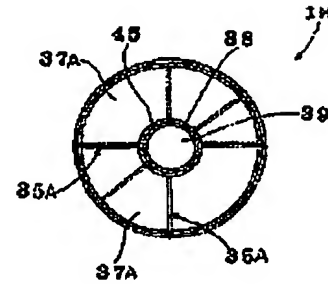
【図24】



【図30】



【図36】

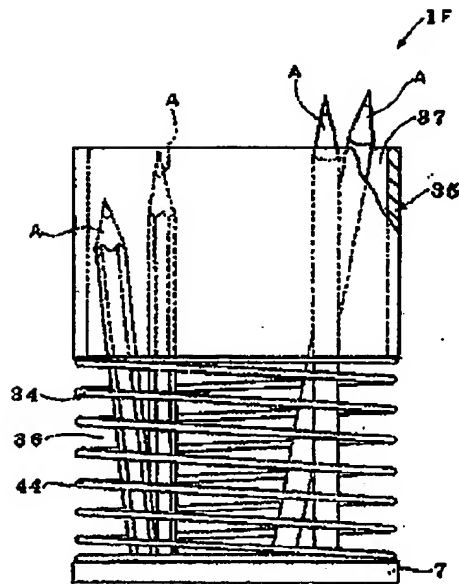




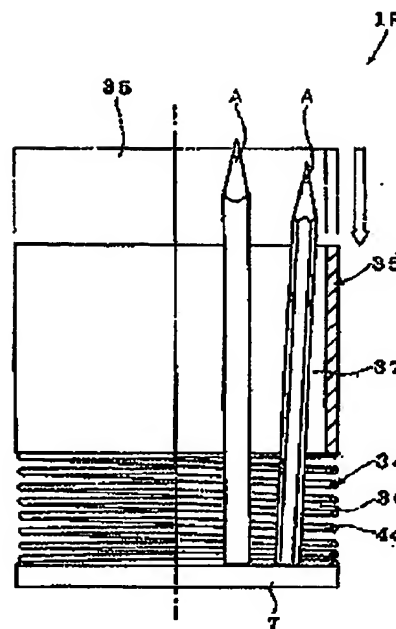
(15)

特開2001-150869

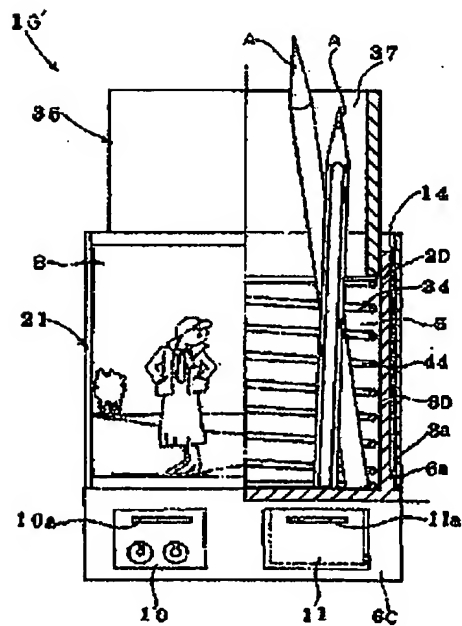
【図25】



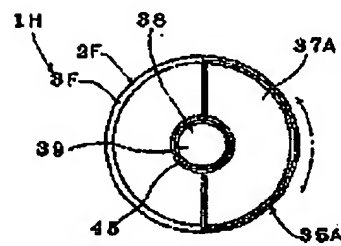
【図26】



【図32】



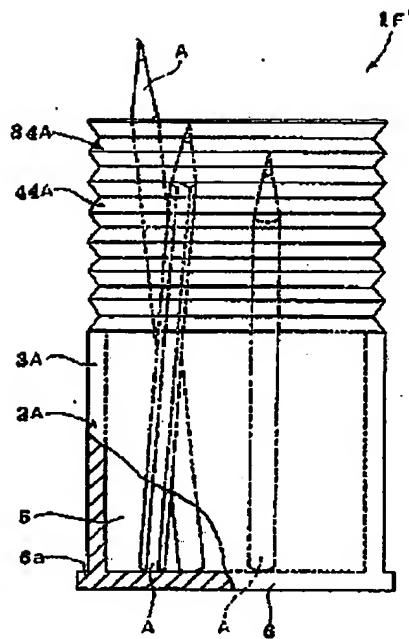
【図34】



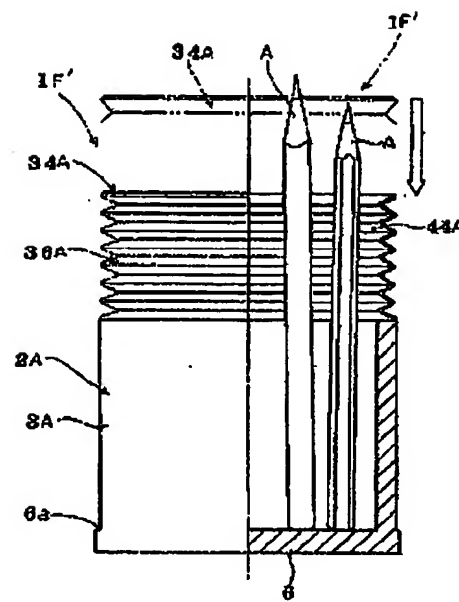
(15)

特開2001-150869

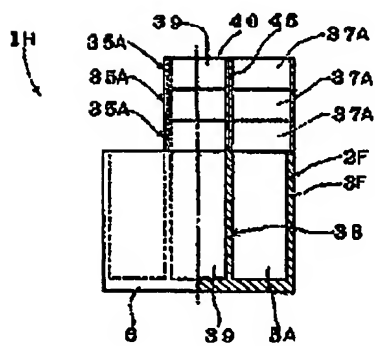
【図28】



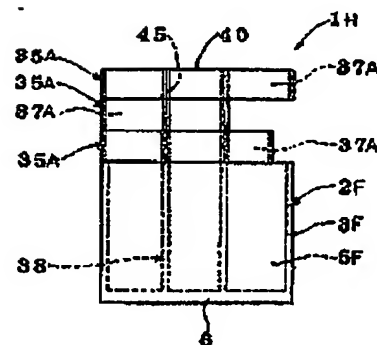
【図29】



【図35】



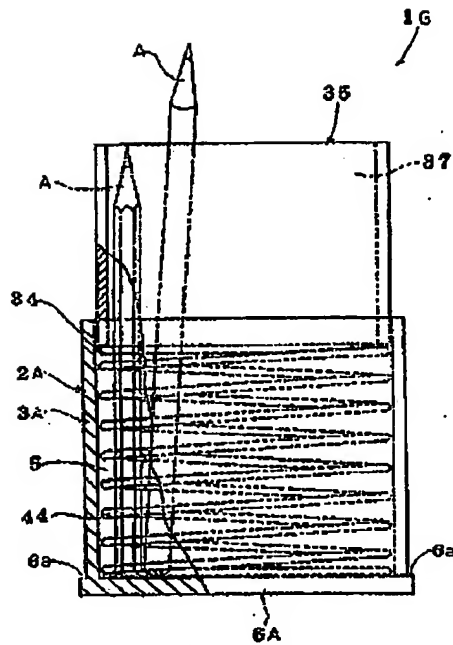
【図37】



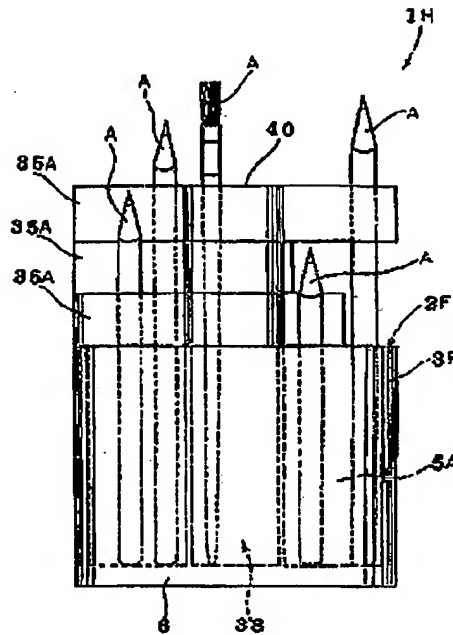
(17)

特開2001-150869

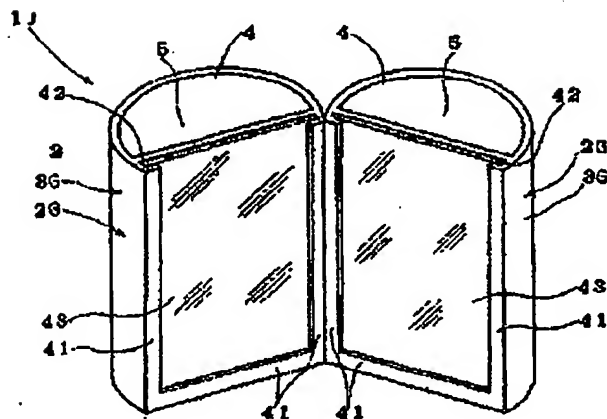
【図31】



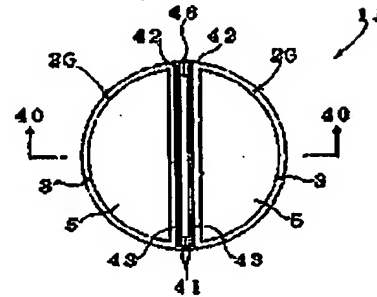
【図33】



【図38】



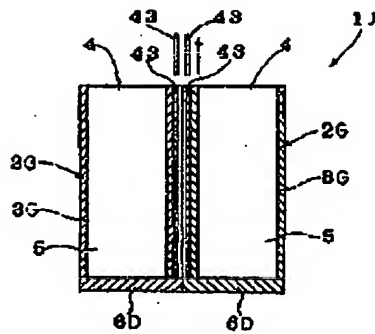
【図39】



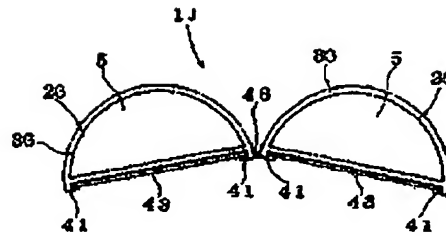
(18)

特開2001-150869

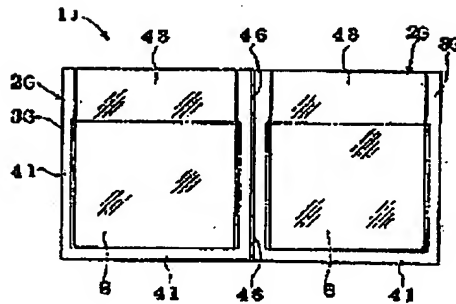
【図40】



【図41】



【図42】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**